

令和 8 年版
公認心理師試験出題基準・ブループリント

一般財団法人公認心理師試験研修センター

目 次

令和 8 年版公認心理師試験出題基準・ブループリントの趣旨	2
公認心理師試験出題基準の利用法	3
ブループリント（公認心理師試験設計表）	5
公認心理師試験 出題基準	6
1 公認心理師としての職責の自覚	6
2 問題解決能力と生涯学習	6
3 多職種連携・地域連携	7
4 心理学・臨床心理学の全体像	7
5 心理学における研究	7
6 心理学に関する実験	8
7 知覚及び認知	8
8 学習及び言語	9
9 感情及び人格	10
10 脳・神経の働き	12
11 社会及び集団に関する心理学	12
12 発達	14
13 障害者（児）の心理学	16
14 心理状態の観察及び結果の分析	16
15 心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）	17
16 健康・医療に関する心理学	18
17 福祉に関する心理学	19
18 教育に関する心理学	21
19 司法・犯罪に関する心理学	22
20 産業・組織に関する心理学	23
21 人体の構造と機能及び疾病	23
22 精神疾患とその治療	25
23 公認心理師に係る制度	26
24 その他（心の健康教育に関する事項等）	29
索引	30

令和8年版公認心理師試験出題基準・ブループリントの趣旨

1 公認心理師試験出題基準とは

(1) 定義

公認心理師試験出題基準は、公認心理師試験の範囲とレベルを項目によって整理したものであり、試験委員が出題に際して準拠する基準である。

(2) 基本的考え方

全体を通じて、公認心理師としての業務を行うために必要な知識及び技能の到達度を確認することに主眼を置く。

2 ブループリントとは

ブループリント（公認心理師試験設計表）は、公認心理師試験出題基準の各大項目の出題割合を示したものである。これに基づき、心理職に対するニーズが高まっている近年の状況を踏まえ、社会変化に伴う国民の心の健康の保持増進に必要な分野を含めた幅広い分野から出題するほか、頻度や緊急性の高い分野についても優先的に出題することになる。

公認心理師試験出題基準の利用法

はじめに

公認心理師試験は、公認心理師法第5条に基づき「公認心理師として必要な知識及び技能」について行われる。

また、同法第2条では「保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって」公認心理師の業務を行うこととされている。公認心理師の業務は同条第1号から第4号に示されており、

- 1 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること。
- 2 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
- 3 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
- 4 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと。

を業とする者であるとされている。

このような公認心理師として業務を行うために必要な基本的知識及び技能を具体的な項目で示したものが、公認心理師試験出題基準・ブループリントである。公認心理師試験委員会は、公認心理師試験の妥当な内容、範囲及び適切なレベルを確保するため、この基準に拠って出題する。

したがって、公認心理師試験出題基準は、大学及び大学院の教育内容すべてを網羅するものではなく、また、これらの教育の在り方を拘束するものでもない。

利用方法

利用者は、以下の各項目に従う。

なお、各項目は、公認心理師試験出題基準という観点から配列されているため、必ずしも学問的な分類体系と一致しない点があるほか、各項目間で内容が重複することがある。また、医学用語については、日本医学会医学用語辞典 Web 版の内容を考慮して定めており、心理学に関する用語については、複数の用語辞典で共通していることを考慮して定めている。

1 大・中・小項目

- (1) 大項目は、「公認心理師カリキュラム等検討会」の報告書（平成 29 年 5 月 31 日）記載の到達目標の項目である。ただし、一部については、内容を明確にする観点から改変している。
- (2) 中項目は、同様に、「公認心理師カリキュラム等検討会」の報告書記載の到達目標の下位項目である。ただし、一部については、内容を明確にする観点から改変している。
- (3) 小項目は、中項目の内容に属する概念及び用語の例を具体的に記載している。他方、出題は、この出題基準に記載された事項に限定されるものではない。例えば、法律、政省令等に規定される事項、厚生労働白書などの公刊物に記載されている事項などからも出題される。

2 ブループリント（公認心理師試験設計表）

項目ごとに出題割合を規定したものである。

出題割合の記載がない中項目以下の事項については、試験委員会の判断で出題する。

3 その他

括弧は、一部を除き、以下のルールに基づいて使用した。試験委員の判断で、括弧内・外の語を単独又は併記して使用できる。

（ ）：直前の語の説明又は例示

【例】空間（運動、奥行き）の知覚

< >：直前の語と同義

【例】ソーシャル・スキルズ・トレーニング<SST>

[]：（ ）や< >の中に（ ）や< >がある場合の大きな括り

【例】生物心理社会モデル [biopsychosocial model<BPS>]

ブループリント（公認心理師試験設計表）

到達目標（目安）	出題割合
① 公認心理師としての職責の自覚	約 6%
② 問題解決能力と生涯学習	
③ 多職種連携・地域連携	
④ 心理学・臨床心理学の全体像	約 3%
⑤ 心理学における研究	約 2%
⑥ 心理学に関する実験	約 2%
⑦ 知覚及び認知	約 2%
⑧ 学習及び言語	約 2%
⑨ 感情及び人格	約 2%
⑩ 脳・神経の働き	約 2%
⑪ 社会及び集団に関する心理学	約 2%
⑫ 発達	約 5%
⑬ 障害者（児）の心理学	約 3%
⑭ 心理状態の観察及び結果の分析	約 8%
⑮ 心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）	約 9%
⑯ 健康・医療に関する心理学	約 9%
⑰ 福祉に関する心理学	約 9%
⑱ 教育に関する心理学	約 9%
⑲ 司法・犯罪に関する心理学	約 5%
⑳ 産業・組織に関する心理学	約 5%
㉑ 人体の構造と機能及び疾病	約 4%
㉒ 精神疾患とその治療	約 5%
㉓ 公認心理師に関係する制度	約 6%
㉔ その他（心の健康教育に関する事項等）	約 2%

公認心理師試験 出題基準

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
1 公認心理師としての職責の自覚	(1) 公認心理師の役割	・ 公認心理師法 ・ 公認心理師の定義
	(2) 公認心理師の法的義務及び倫理	・ 信用失墜行為の禁止、秘密保持義務、関係者等との連携等、資質向上の責務 ・ 倫理的ジレンマ ・ 多重関係
	(3) 心理に関する支援を要する者（以下「要支援者」という。）等の安全の確保と要支援者の視点	・ リスクアセスメント ・ 危機介入 ・ 自殺予防 ・ 虐待への対応
	(4) 情報の適切な取扱い	・ 秘密保持義務 ・ 個人情報の保護 ・ 専門家間の情報共有 ・ 業務に関する記録の適切な保管 ・ インフォームド・コンセント ・ プライバシー保護
	(5) 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務	・ 心理検査 ・ アセスメント ・ 心理療法 ・ チーム医療 ・ 多職種連携 ・ カウンセリング
2 問題解決能力と生涯学習	(1) 自己課題発見と解決能力	・ 心理職のコンピテンシー
	(2) 生涯学習への準備	・ 心理職の成長モデル ・ スーパービジョン

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
3 多職種連携・地域連携	多職種連携・地域連携の意義及びチームにおける公認心理師の役割	・ 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働との連携 ・ 家族との連携 ・ 自己責任と自分の限界 ・ 支援に関わる専門職と組織 ・ アドバンス・ケア・プランニング<ACP>
4 心理学・臨床心理学の全体像	(1) 心理学・臨床心理学の成り立ち	・ 要素主義、ゲシュタルト心理学、精神分析学、行動主義、新行動主義 ・ 認知心理学、認知神経科学 ・ 科学者－実践者モデル <scientist-practitioner model> ・ 生物心理社会モデル [biopsychosocial model<BPS>] ・ 心理力動アプローチ、認知行動アプローチ、人間性アプローチ ・ ナラティブ・アプローチ、社会構成主義
	(2) 人の心の基本的な仕組みとその働き	・ 感覚、知覚 ・ 記憶、学習、言語、思考 ・ 動機づけ、感情、情動 ・ 個人差 ・ 社会行動 ・ 発達
5 心理学における研究	(1) 心理学における実証的研究法	・ 心理学における研究倫理 ・ 実験法、調査法、観察法、検査法、面接法 ・ 実践的研究法
	(2) 心理学で用いられる統計手法	・ 分散分析、因子分析、重回帰分析、構造方程式モデリング、多変量解析 ・ テスト理論、メタ分析

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
5 心理学における研究（続き）	（３）統計に関する基礎知識	・ 尺度水準、度数分布、代表値、散布度、相関係数 ・ 仮説検定、点推定、区間推定、ノンパラメトリック検定 ・ 確率と確率分布、標本分布
6 心理学に関する実験	（１）実験計画の立案	・ 文献研究、リサーチ・クエスチョン、仮説、目的、手続 ・ 実験参加者 ・ 刺激、材料、装置
	（２）実験データの収集とデータ処理	・ 実験法、調査法、観察法、検査法、面接法 ・ データ解析
	（３）実験結果の解釈と報告書の作成	・ 結果、考察 ・ 引用方法と引用文献
7 知覚及び認知	（１）人の感覚・知覚の機序及びその障害	・ 心理物理学 ・ 明るさと色の知覚、空間（運動、奥行き）の知覚、物体とシーンの知覚 ・ 音と音声の知覚 ・ 味覚、嗅覚、触覚 ・ 体性感覚、自己受容感覚、多感覚統合 ・ 知覚の可塑性 ・ 脳機能計測技術 ・ 知覚・認知機能の障害 ・ 感性

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
7 知覚及び認知（続き）	（2）人の認知・思考の機序及びその障害	・ ワーキングメモリ、短期記憶、長期記憶 ・ 自伝的記憶、展望記憶、日常記憶 ・ 推論（演繹的推論、帰納的推論） ・ 注意、意識 ・ 物体認知 ・ 身体化認知 ・ 思考、問題解決 ・ 意思決定 ・ 認知バイアス ・ 潜在記憶、プライミング ・ 記憶障害 ・ 知識
8 学習及び言語	（1）人の行動が変化する過程	・ 初期学習（刻印づけ、臨界期、生得的解発機構） ・ 古典的条件づけ、オペラント条件づけ ・ 恐怖条件づけ、嫌悪条件づけ ・ 馴化、鋭敏化 ・ 般化、弁別、転移 ・ 逃避学習、回避学習 ・ 試行錯誤、洞察学習、潜在学習、社会的学習（観察、モデリング）、運動学習 ・ 学習の生物学的・進化心理学的基礎

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
8 学習及び言語（続き）	（２）言語の習得における機序	・ 意味論、語用論、統語論、音韻論、形態論 ・ 認知言語学、社会言語学 ・ ナラティブ、談話、会話、コミュニケーション ・ N. Chomsky の言語理論（普遍文法、生成文法、言語獲得装置） ・ 行動主義的言語学習理論 ・ 用法基盤モデル ・ 言語獲得支援システム ・ 語彙獲得（共同注意、認知的制約） ・ 言語発達過程 ・ 失語症（ウェルニッケ失語、ブローカ失語） ・ ディスレクシア（読字障害） ・ 文理解
9 感情及び人格	（１）感情に関する理論と感情喚起の機序	・ 感情（affect）、情動（emotion）、気分（mood）、主観的情感（feeling） ・ 感情の進化的基盤 ・ 感情の神経生理的基盤 ・ 末梢神経説、中枢神経説、二要因理論、次元論 ・ 基本感情理論 ・ 認知的評価理論 ・ 感情の社会的構成主義理論 ・ 感情の心理的構成主義理論 ・ ソマティック・マーカー仮説 ・ 感情の生物学的機能 ・ 感情の社会的機能

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
9 感情及び人格（続き）	（２）感情が行動に及ぼす影響	- 感情の表出（顔表情・発声・姿勢・行為傾向） - 表情知覚 - 感情と認知・情報処理バイアス - 感情と社会・文化 - 感情の発達 - 感情の個人差（感情特性） - 感情と心身の健康 - 感情の病理・障害 - 感情制御、感情知性 - 感情と動機づけ - ポジティブ感情
	（３）人格の概念及び形成過程	- 人格、パーソナリティ、性格、気質 - 人格と認知、感情、行動 - 状況論、相互作用論、社会的認知理論 - 一貫性論争（人間－状況論争） - ストレス耐性、ストレス脆弱性、レジリエンス - 人格の形成過程（連続性と変化、遺伝要因、環境要因） - 自尊心
	（４）人格の類型、特性	- 類型論、特性論 ５因子モデル、６因子モデル（HEXACO） - 語彙アプローチ、ナラティブ・アプローチ、人間性心理学的アプローチ - 個人差、測定、検査、尺度、アセスメント - パーソナリティ障害 - ダーク・トライアド

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
10 脳・神経の働き	(1) 脳神経系の構造と機能	・ 中枢神経（ニューロン、シナプス、グリア、脳脊髄液）、末梢神経 ・ 機能局在（大脳皮質、辺縁系、視床、視床下部） ・ 自律神経（交感神経、副交感神経） ・ 睡眠、摂食行動、情動行動、性行動、サーカディアンリズム ・ 神経伝達物質（受容体、グルタミン酸、GABA、アセチルコリン、ノルアドレナリン、ドパミン、セロトニン、オピオイド類）
	(2) 記憶、感情等の生理学的反応の機序	・ 意識、知覚、記憶、感情 ・ 体温、皮膚電位図、筋電図、心電図 ・ 脳波、事象関連電位 ・ 局所脳血流変化
	(3) 高次脳機能の障害と必要な支援	・ 失語、失行、失認 ・ 記憶障害、遂行機能障害、注意障害、社会的行動障害 ・ 高次脳機能障害の原因 ・ リハビリテーション、生活訓練、就労移行支援
11 社会及び集団に関する心理学	(1) 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程	・ 個人内過程、集団過程 ・ コミュニケーション ・ ソーシャル・スキル ・ 対人ストレス ・ 親密な対人関係 ・ 社会的影響 ・ 社会的ジレンマ ・ 社会的アイデンティティ、集団認知 ・ ソーシャル・ネットワーク、ソーシャル・サポート ・ 集合現象 ・ 集団、組織

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
11 社会及び集団に関する心理学（続き）	（２）人の態度及び行動	・ 社会的自己、自己過程、態度、帰属 ・ ステレオタイプ ・ 社会的感情、社会的動機 ・ 社会的認知、対人認知、印象形成、社会的推論 ・ 潜在認知 ・ 対人魅力 ・ 自己呈示、自己開示 ・ 社会的交換 ・ 協力と競争、援助と攻撃
	（３）家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響	・ 結婚、夫婦関係、家族関係 ・ 育児、養育信念、家族の情動的風土 ・ 不適切な養育（心理的虐待、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト） ・ 家庭内暴力<DV>、夫婦間暴力<IPV> ・ 家族システム論 ・ 家族療法 ・ 生態学的システム論 ・ 個人主義、集団主義、文化的自己観 ・ 文化と適応 ・ 集団と組織

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
12 発達	(1) 認知機能の発達及び感情・社会性の発達	・ J. Piaget の発達理論、L. S. Vygotsky の発達理論 ・ 知能指数、知能の構造（多重知能） ・ 乳児に対する実験法（選好注視法、馴化・脱馴化法、期待違反法） ・ 比較発達心理学的アプローチ ・ 心の理論、メンタライゼーション ・ 共感性、向社会的行動、協調性、道徳性、規範意識 ・ 向社会性、非社会性、反社会性 ・ 自己制御、実行機能 ・ 感情制御、感情知性 ・ 養育と発達
	(2) 自己と他者の関係の在り方と心理的発達	・ アタッチメント、内的作業モデル ・ 気質と環境 ・ 相互規定的作用モデル<transactional model> ・ 社会化と個性化 ・ 対人関係の発達（仲間関係、友人関係、異性関係） ・ 自己概念、自己意識、アイデンティティ ・ ジェンダーとセクシャリティ（性的指向、ジェンダーアイデンティティ）
	(3) 生涯における発達と各発達段階での特徴	・ 生涯発達の遺伝的基盤 ・ ライフサイクル論 ・ 胎児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期、中年期、老年期 ・ 恋愛、結婚、家族形成 ・ 職業意識とライフコース選択 ・ キャリア発達 ・ 親としての発達 ・ 中年期危機 ・ 世代継承性<generativity>

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
12 発達（続き）	（４）非定型発達	・ 神経発達症群／神経発達障害群 ・ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害<ASD> ・ 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害<AD/HD> ・ 限局性学習症／限局性学習障害<SLD> ・ 発達性協調運動症／発達性協調運動障害 ・ 知的能力障害 ・ アタッチメント障害（反応性アタッチメント症、脱抑制型対人交流症） ・ 早産、低出生体重児 ・ 成長障害<FTT>（器質性、非器質性） ・ 可視的差異 ・ 非定型発達に対する介入及び支援
	（５）高齢者の心理社会的課題と必要な支援	・ 平均寿命、健康寿命、加齢のメカニズム ・ 加齢による心身機能の変化、終末低下 ・ 社会的離脱、活動持続、補償を伴う選択的最適化、社会情動的選択性理論 ・ 喪失と悲嘆、独居・孤独、ソーシャル・サポート（ソーシャル・コンボイ） ・ 認知症、日常生活動作<ADL>、介護、被介護 ・ QOL<quality of life>、ウェルビーイング、エイジング・パラドックス<aging paradox> ・ サクセスフルエイジング（高齢者就労、社会的参加） ・ 老年的超越 ・ 死の受容

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
13 障害者（児）の心理学	（１）身体障害、知的障害及び精神障害	・ 国際障害分類<ICIDH>、国際生活機能分類<ICF> ・ アセスメント ・ 発達障害 ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律<障害者総合支援法>、発達障害者支援法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>
	（２）障害者（児）の心理社会的課題と必要な支援	・ 障害者（児）の基本的権利、合理的配慮 ・ リハビリテーション ・ 療育、特別支援教育 ・ 就労支援、ソーシャル・スキルズ・トレーニング<SST> ・ 応用行動分析、認知行動療法、TEACCH ・ ペアレント・トレーニング
14 心理状態の観察及び結果の分析	（１）心理的アセスメントに有用な情報（生育歴や家族の状況等）とその把握の手法等	・ テストバッテリー、アセスメント ・ ケース・フォーミュレーション ・ 機能分析 ・ インフォームド・コンセント ・ 診断的評価、精神疾患の診断分類 ・ 半構造化面接 ・ インテーク面接、査定面接 ・ 司法面接 ・ 観察法 ・ 生物心理社会モデル [biopsychosocial model<BPS>]
	（２）関与しながらの観察	
	（３）心理検査の種類、成り立ち、特徴、意義及び限界	・ 質問紙法、投影法、描画法、作業検査法、神経心理学的検査 ・ 知能検査 ・ 発達検査

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
14 心理状態の観察及び結果の分析（続き）	（４）心理検査の適用、実施及び結果の解釈	・ 実施上の留意点
	（５）生育歴等の情報、行動観察、心理検査の結果等の統合と包括的な解釈	
	（６）適切な記録、報告、振り返り等	・ アセスメント結果のフィードバック
15 心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）	（１）代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義及び適応	・ 心理療法 ・ 心理力動理論、認知行動理論、人間性アプローチ、集団療法
	（２）訪問による支援や地域支援の意義	・ アウトリーチ（多職種による訪問支援） ・ 緩和ケア、終末期ケア（グリーフケアを含む。） ・ 自殺予防 ・ 災害時における支援 ・ 地域包括ケアシステム ・ コミュニティ・アプローチ、コンサルテーション
	（３）要支援者の特性や状況に応じた支援方法の選択、調整	・ カウンセリング ・ 援助要請 ・ 転移、逆転移 ・ エビデンスベースト・アプローチ ・ 生物心理社会モデル [biopsychosocial model<BPS>] ・ エンパワメント ・ ナラティブ・アプローチ ・ ポジティブ心理学
	（４）良好な人間関係構築のためのコミュニケーション	・ 共感的理解、傾聴、作業同盟
	（５）心理療法及びカウンセリングの適用の限界	・ 効果研究、メタ分析 ・ 動機づけ面接

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
15 心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助） （続き）	（６）要支援者等のプライバシーへの配慮	・ 個人情報保護に関する法律〈個人情報保護法〉、個人の尊厳と自己決定の尊重、インフォームド・コンセント、守秘義務の例外
16 健康・医療に関する心理学	（１）ストレスと心身の疾病との関係	・ 生活習慣と心の健康（生活習慣病、ストレス反応）、ライフサイクルと心の健康 ・ ストレス症状（うつ症状、依存、燃え尽き症候群〈バーンアウト〉を含む。） ・ 心身症（タイプＡ型行動パターン、アレキシサイミア〈失感情症〉を含む。） ・ 予防の考え方（Caplan モデル）
	（２）医療現場における心理社会的課題と必要な支援	・ 精神疾患 ・ 遺伝性疾患、遺伝カウンセリング ・ がん、難病 ・ 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉 ・ 医療倫理、医療安全、感染対策 ・ チーム医療と多職種連携の実践 ・ リエゾン精神医学〈精神科コンサルテーション〉 ・ QOL〈quality of life〉
	（３）保健活動における心理的支援	・ 発達相談 ・ うつ、自殺対策、職場復帰支援 ・ 依存症（薬物、アルコール、ギャンブル） ・ 認知症高齢者 ・ ひきこもり ・ 妊娠・出産・育児
	（４）災害時等の心理的支援	・ 被災者の心身の反応 ・ 被災者への支援、心理的応急処置〈サイコロジカル・ファーストエイド〉 ・ 医療・保健領域の災害支援チーム ・ 支援者のケア

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
17 福祉に関する心理学	(1) 福祉現場において生じる問題とその背景	・ 障害者福祉の対象と問題（身体障害、知的障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害） ・ 児童福祉の対象と問題（要保護児童、養育困難、児童虐待） ・ 高齢者福祉の対象と問題（MCI、認知症、要介護、閉じこもり、フレイル） ・ 社会福祉の歴史と動向・基本理念 ・ 社会福祉を担う機関・施設 ・ 関連する家庭・社会状況〔少子高齢化、超高齢社会、貧困・低所得、一人親世帯、単身世帯、地域関係の希薄化、離婚・再婚家庭、外国籍の子ども、夫婦間暴力<IPV>、ジェンダーとセクシャリティ（性的指向、ジェンダーアイデンティティ）〕

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
17 福祉に関する心理学（続き）	（２）福祉現場における心理社会的課題と必要な支援方法	・ 倫理的問題（尊厳、権利擁護・アドボカシー、意思決定支援・意見表明権） ・ 本人の心理社会的課題（抑うつ、不安、孤立、ひきこもり、閉じこもり、生活困窮、独居困難、施設入所体験、親との分離体験） ・ 家族・関係者の心理社会的問題（育児ストレス、介護うつ、燃え尽き症候群〈バーンアウト〉、離職・人手不足、二次的外傷） ・ 福祉現場における支援の基本（ソーシャル・インクルージョン、エコロジカル・モデル〈生態学的モデル〉、多職種連携・協働、コンサルテーション、コラボレーション） ・ アセスメント（発達、メンタルヘルス、家族関係、認知機能） ・ 心理的支援（カウンセリング、ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉、認知リハビリテーション、心理教育、回想法、遊戯療法、芸術療法、家族支援・家族療法） ・ 施設・制度を活用した支援〔社会的養護（施設養護・里親制度）、子育て支援、セルフヘルプグループ、地域包括支援センターとの連携、就労支援、生活保護、配偶者暴力相談支援センター〕
	（３）虐待、認知症に関する必要な支援	・ 虐待の定義・分類・動向と背景 ・ 虐待対応の仕組みと通告・相談 ・ 虐待が与える心理・発達の影響（心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉、愛着・アタッチメントの課題、脳や心身の発達への影響）

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
17 福祉に関する心理学（続き）	（３）虐待、認知症に関する必要な支援（続き）	・ 被虐待児（者）への支援〔被虐待児（者）への心理療法、生活の中の治療、リービングケア、教育機関・関係機関との連携〕 ・ 虐待者の心理と支援・再発予防 ・ 家族支援・親子関係再構築支援 ・ 虐待の発生予防と在宅支援 ・ 認知症の概念・定義・分類・動向 ・ 代表的な認知症疾患（アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レヴィ小体型認知症、前頭側頭型認知症、治療可能な認知症） ・ 心理的支援（回想法、認知リハビリテーション、心理教育、芸術療法、介護者支援、パーソンセンタード・ケア） ・ 本人・家族・介護者の心理
18 教育に関する心理学	（１）教育現場において生じる問題とその背景	・ いじめ、学校不適応、非行、学級崩壊 ・ 無気力 ・ ネット依存、薬物依存 ・ 自傷、自殺〈自死〉 ・ 学校組織文化、学級風土、教師－生徒関係 ・ 学力、自己調整学習、セルフ・モニタリング、学習行動、学習方略 ・ 貧困、児童虐待 ・ ジェンダーとセクシャリティ（性的指向、ジェンダーアイデンティティ） ・ 動機づけ ・ 自己効力感 ・ 原因帰属

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
18 教育に関する心理学（続き）	（２）教育現場における心理社会的課題と必要な支援	・ 不登校 ・ 学校危機、学校安全 ・ スクールカウンセリング、スクールソーシャルワーク ・ 学生相談 ・ チーム学校 ・ 教育関係者へのコンサルテーション、コラボレーション、コーディネーション ・ 教育評価、応用行動分析 ・ ストレスマネジメント教育、アサーション、構成的グループエンカウンター、ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉、援助要請スキル ・ 生徒指導、キャリア教育 ・ 特別支援教育 ・ 教職員のメンタルヘルスと支援 ・ 就学相談、学習支援、学修支援 ・ ICT を用いた支援 ・ 合理的配慮
19 司法・犯罪に関する心理学	（１）犯罪、非行、犯罪被害及び家事事件に関する基本的事項	・ 犯罪、少年非行 ・ 犯罪予防、再犯予防 ・ 犯罪捜査場面における心理学 ・ 鑑定 ・ 医療観察制度 ・ 犯罪被害者支援 ・ 離婚と子の福祉（親権、親子交流）

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
19 司法・犯罪に関する心理学（続き）	（２）司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理的支援	・ 非行・犯罪の理論 ・ 非行・犯罪のアセスメント ・ 施設内処遇と社会内処遇 ・ 非行・犯罪の各種処遇プログラム ・ 非行・犯罪の心理発達の背景 ・ 被害者の視点を取り入れた教育 ・ 動機づけ面接 ・ 司法面接
20 産業・組織に関する心理学	（１）職場における問題に対して必要な心理的支援	・ 過労死・過労自殺、ハラスメント、労働災害 ・ 職場復帰支援、障害者の就労支援 ・ キャリア形成、キャリア支援、人的資源管理 ・ 働き方改革、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、両立支援（仕事と家庭、治療と仕事）、ポジティブメンタルヘルス ・ 関係者へのコンサルテーション、コラボレーション ・ 職場のメンタルヘルス対策、ストレスチェック制度
	（２）組織における人の行動	・ リーダーシップ ・ 労働安全衛生マネジメント ・ 動機づけ理論 ・ 職場組織の人間関係
21 人体の構造と機能及び疾病	（１）心身機能、身体構造及びさまざまな疾病と障害	・ 人体の解剖と生理 ・ 加齢（身体・心理・精神機能の変化） ・ 主要な症候（めまい、倦怠感、呼吸困難）

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
21 人体の構造と機能及び疾病（続き）	（２）心理的支援が必要な主な疾病	・ がん、難病 ・ 遺伝性疾患 ・ 後天性免疫不全症候群<AIDS> ・ 脳血管疾患 ・ 脳卒中後遺症、循環器疾患、内分泌代謝疾患 ・ 依存症（薬物、アルコール、ギャンブル） ・ 移植医療、再生医療 ・ サイコオンコロジー<精神腫瘍学> ・ 緩和ケア、終末期ケア（グリーフケアを含む。）

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
22 精神疾患とその治療	(1) 代表的な精神疾患の成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援	・ 主な症状と状態像（抑うつ、不安、恐怖、幻覚、妄想） ・ 精神疾患の診断分類 ・ 症状性を含む器質性精神障害 ・ 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 ・ 統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害 ・ 気分（感情）障害 ・ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 ・ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 ・ 成人のパーソナリティ及び行動の障害 ・ 精神遅滞（知的障害） ・ 心理的発達の障害 ・ 小児期及び青年期に通常発症する行動並びに情緒の障害、特定不能の精神障害 ・ 行動観察、評定尺度 ・ 知能検査、神経心理学的検査、脳波検査、神経画像検査、発達検査、認知機能検査 ・ 薬物療法、作業療法、心理療法 ・ 地域移行、自助グループ ・ アドヒアランス
	(2) 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化	・ 薬理作用 ・ 薬物動態 ・ 有害事象、副作用（錐体外路症状、抗コ

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
22 精神疾患とその治療（続き）	（２）向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化（続き）	リン作用、依存耐性、賦活症候群） ・ 向精神薬（抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬、抗精神病薬、気分安定薬、抗認知症薬、精神刺激薬） ・ 薬剤性精神障害
	（３）医療機関への紹介	・ 他の領域や診療科から精神科等医療機関へ紹介すべき例
23 公認心理師に関係する制度	（１）保健医療分野に関する法律、制度	・ 医療法、医療計画制度、診療録、保険診療制度 ・ 高齢者の医療の確保に関する法律 ・ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉 ・ 自殺対策基本法 ・ 健康増進法 ・ 地域保健法、母子保健法 ・ 民法（説明義務、注意義務、過失） ・ 医療保険制度、介護保険制度 ・ 医療の質、医療事故防止、院内感染対策
	（２）福祉分野に関する法律、制度	・ 児童福祉法 ・ 老人福祉法 ・ 障害者基本法 ・ こども基本法 ・ 児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉 ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉、障害福祉計画 ・ 発達障害者支援法 ・ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別解消法〉 ・ 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
23 公認心理師 に関する制度（続き）	（２）福祉分野に関する法律、制度（続き）	・ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律<高齢者虐待防止法> ・ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律<配偶者暴力防止法> ・ 生活保護法 ・ 生活困窮者自立支援法 ・ 共生社会の実現を推進するための認知症基本法<認知症基本法> ・ 成年後見制度の利用の促進に関する法律 ・ 配偶者暴力相談支援センター、児童相談所、福祉事務所、地域包括支援センター
	（３）教育分野に関する法律、制度	・ 教育基本法、学校教育法 ・ 学校保健安全法 ・ いじめ防止対策推進法 ・ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律<教育機会確保法> ・ 特別支援教育、通級による指導 ・ 校内教育支援センター ・ 不登校特例校 ・ 学習指導要領、生徒指導提要

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
23 公認心理師 に関する制度（続き）	（４）司法・犯罪分野に関する法律、制度	・ 刑事司法制度、少年司法制度 ・ 更生保護制度 ・ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律<医療観察法> ・ 犯罪被害者等基本法、犯罪被害者支援制度 ・ 裁判員裁判 ・ 家事事件、人事訴訟事件 ・ 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約<ハーグ条約> ・ 家庭裁判所、保護観察所、刑事施設、少年鑑別所、少年院、児童自立支援施設 ・ 更生保護施設、地域生活定着支援センター、自立更生促進センター
	（５）産業・労働分野に関する法律、制度	・ 労働基準法、労働安全衛生法、労働契約法、労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律<労働者派遣法> ・ 障害者の雇用の促進等に関する法律<障害者雇用促進法> ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法> ・ 労働者の心の健康の保持増進のための指針 ・ 心理的負荷による精神障害の認定基準 ・ 職場におけるハラスメント防止対策、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律<労働施策総合推進法>

大項目	中項目	小項目 ※概念及び用語の例
24 その他（心の健康教育に関する事項等）	（１）具体的な体験、支援活動の専門知識及び技術への概念化、理論化、体系化	
	（２）実習を通じた要支援者等の情報収集、課題抽出及び整理	
	（３）心の健康に関する知識普及を図るための教育、情報の提供	・ 健康日本 21、こころの健康対策 [うつ病、薬物依存症、心的外傷後ストレス障害<PTSD>] ・ 自殺予防 ・ 心理教育 ・ 支援者のメンタルヘルス

索引

用語【大項目-(中項目)】・・・頁数

あ

愛着・アタッチメントの課題【17-(3)】	p20
アイデンティティ【12-(2)】	p14
アウトリーチ【15-(2)】	p17
明るさと色の知覚【7-(1)】	p 8
アサーション【18-(2)】	p22
アセスメント【1-(5)】	p 6
【9-(4)】	p11
【13-(1)】	p16
【14-(1)】	p16
【17-(2)】	p20
アセスメント結果のフィードバック	
【14-(6)】	p17
アセチルコリン【10-(1)】	p12
アタッチメント【12-(2)】	p14
アタッチメント障害【12-(4)】	p15
アドバンス・ケア・プランニング<ACP>	
【3】	p 7
アドヒアランス【22-(1)】	p25
アルコール【16-(3)】	p18
【21-(2)】	p24
アルツハイマー型認知症【17-(3)】	p21
アレキシサイミア<失感情症>【16-(1)】	p18

い

育児【11-(3)】	p13
育児ストレス【17-(2)】	p20
意識【7-(2)】	p 9
【10-(2)】	p12
意思決定【7-(2)】	p 9
意思決定支援・意見表明権【17-(2)】	p20
いじめ【18-(1)】	p21
いじめ防止対策推進法【23-(3)】	p27
移植医療【21-(2)】	p24
異性関係【12-(2)】	p14
依存【16-(1)】	p18
依存症【16-(3)】	p18
【21-(2)】	p24
依存耐性【22-(2)】	p26
一貫性論争【9-(3)】	p11
遺伝カウンセリング【16-(2)】	p18
遺伝性疾患【16-(2)】	p18
【21-(2)】	p24
遺伝要因【9-(3)】	p11
意味論【8-(2)】	p10
医療安全【16-(2)】	p18
医療観察制度【19-(1)】	p22

医療観察法【23-(4)】	p28
医療計画制度【23-(1)】	p26
医療事故防止【23-(1)】	p26
医療の質【23-(1)】	p26
医療法【23-(1)】	p26
医療保険制度【23-(1)】	p26
医療・保健領域の災害支援チーム【16-(4)】	p18
医療倫理【16-(2)】	p18
因子分析【5-(2)】	p 7
印象形成【11-(2)】	p13
インテーク面接【14-(1)】	p16
院内感染対策【23-(1)】	p26
インフォームド・コンセント【1-(4)】	p 6
【14-(1)】	p16
【15-(6)】	p18
引用方法と引用文献【6-(3)】	p 8

う

ウェルニッケ失語【8-(2)】	p10
ウェルビーイング【12-(5)】	p15
うつ【16-(3)】	p18
うつ症状【16-(1)】	p18
うつ病【24-(3)】	p29
運動学習【8-(1)】	p 9
運動の知覚【7-(1)】	p 8

え

エイジング・パラドックス<aging paradox>	
【12-(5)】	p15
鋭敏化【8-(1)】	p 9
エコロジカル・モデル<生態学的モデル>	
【17-(2)】	p20
エビデンスベイズト・アプローチ【15-(3)】	p17
演繹的推論【7-(2)】	p 9
援助と攻撃【11-(2)】	p13
援助要請【15-(3)】	p17
援助要請スキル【18-(2)】	p22
エンパワメント【15-(3)】	p17

お

応用行動分析【13-(2)】	p16
【18-(2)】	p22
奥行きの知覚【7-(1)】	p 8
音と音声の知覚【7-(1)】	p 8

オピオイド類【10-(1)】	p12
オペラント条件づけ【8-(1)】	p 9
主な症状と状態像【22-(1)】	p25
親子交流【19-(1)】	p22
親としての発達【12-(3)】	p14
親との分離体験【17-(2)】	p20
音韻論【8-(2)】	p10

か

介護【12-(5)】	p15
介護うつ【17-(2)】	p20
外国籍の子ども【17-(1)】	p19
介護者支援【17-(3)】	p21
介護保険制度【23-(1)】	p26
回想法【17-(2)】	p20
【17-(3)】	p21
回避学習【8-(1)】	p 9
会話【8-(2)】	p10
カウンセリング【1-(5)】	p 6
【15-(3)】	p17
【17-(2)】	p20
顔表情・発声・姿勢・行為傾向【9-(2)】	p11
科学者－実践者モデル	
〈scientist-practitioner model〉【4-(1)】	p 7
学習【4-(2)】	p 7
学習行動【18-(1)】	p21
学習支援【18-(2)】	p22
学修支援【18-(2)】	p22
学習指導要領【23-(3)】	p27
学習の生物学的・進化心理学的基礎【8-(1)】	p 9
学習方略【18-(1)】	p21
学生相談【18-(2)】	p22
確率と確率分布【5-(3)】	p 8
学力【18-(1)】	p21
家事事件【23-(4)】	p28
過失【23-(1)】	p26
可視的差異【12-(4)】	p15
仮説【6-(1)】	p 8
仮説検定【5-(3)】	p 8
家族関係【11-(3)】	p13
【17-(2)】	p20
家族・関係者の心理社会的問題【17-(2)】	p20
家族形成【12-(3)】	p14
家族支援・親子関係再構築支援【17-(3)】	p21
家族支援・家族療法【17-(2)】	p20
家族システム論【11-(3)】	p13
家族との連携【3】	p 7
家族の情動的風土【11-(3)】	p13
家族療法【11-(3)】	p13
学級風土【18-(1)】	p21
学級崩壊【18-(1)】	p21
学校安全【18-(2)】	p22
学校危機【18-(2)】	p22
学校教育法【23-(3)】	p27
学校不適応【18-(1)】	p21
学校組織文化【18-(1)】	p21
学校保健安全法【23-(3)】	p27
活動持続【12-(5)】	p15

家庭裁判所【23-(4)】	p28
家庭内暴力<DV>【11-(3)】	p13
加齢【21-(1)】	p23
加齢による心身機能の変化【12-(5)】	p15
加齢のメカニズム【12-(5)】	p15
過労死・過労自殺【20-(1)】	p23
がん【16-(2)】	p18
【21-(2)】	p24
感覚【4-(2)】	p 7
環境要因【9-(3)】	p11
関係者等との連携等【1-(2)】	p 6
関係者へのコンサルテーション【20-(1)】	p23
観察【8-(1)】	p 9
観察法【5-(1)】	p 7
【6-(2)】	p 8
【14-(1)】	p16
感情【4-(2)】	p 7
【9-(1)】	p10
【9-(3)】	p11
【10-(2)】	p12
感情制御【9-(2)】	p11
【12-(1)】	p14
感情知性【9-(2)】	p11
【12-(1)】	p14
感情特性【9-(2)】	p11
感情と社会・文化【9-(2)】	p11
感情と心身の健康【9-(2)】	p11
感情と動機づけ【9-(2)】	p11
感情と認知・情報処理バイアス【9-(2)】	p11
感情の個人差【9-(2)】	p11
感情の社会的機能【9-(1)】	p10
感情の社会的構成主義理論【9-(1)】	p10
感情の進化的基盤【9-(1)】	p10
感情の神経生理的基盤【9-(1)】	p10
感情の心理的構成主義理論【9-(1)】	p10
感情の生物学的機能【9-(1)】	p10
感情の発達【9-(2)】	p11
感情の表出【9-(2)】	p11
感情の病理・障害【9-(2)】	p11
感性【7-(1)】	p 8
感染対策【16-(2)】	p18
鑑定【19-(1)】	p22
関連する家庭・社会状況【17-(1)】	p19
緩和ケア【15-(2)】	p17
【21-(2)】	p24

き

記憶【4-(2)】	p 7
【10-(2)】	p12
記憶障害【7-(2)】	p 9
【10-(3)】	p12
危機介入【1-(3)】	p 6
気質【9-(3)】	p11
器質性【12-(4)】	p15
気質と環境【12-(2)】	p14
帰属【11-(2)】	p13
期待違反法【12-(1)】	p14
機能局在【10-(1)】	p12

帰納的推論【7-(2)】	p 9
機能分析【14-(1)】	p16
規範意識【12-(1)】	p14
気分【9-(1)】	p10
気分安定薬【22-(2)】	p26
気分(感情)障害【22-(1)】	p25
基本感情理論【9-(1)】	p10
義務教育の段階における普通教育に相当する教育 の機会の確保等に関する法律<教育機会確保法> 【23-(3)】	p27
虐待が与える心理・発達の影響【17-(3)】	p20
虐待者の心理と支援・再発予防【17-(3)】	p21
虐待対応の仕組みと通告・相談【17-(3)】	p20
虐待の定義・分類・動向と背景【17-(3)】	p20
虐待の発生予防と在宅支援【17-(3)】	p21
虐待への対応【1-(3)】	p 6
逆転移【15-(3)】	p17
キャリア教育【18-(2)】	p22
キャリア形成【20-(1)】	p23
キャリア支援【20-(1)】	p23
キャリア発達【12-(3)】	p14
ギャンブル【16-(3)】	p18
【21-(2)】	p24
嗅覚【7-(1)】	p 8
教育関係者へのコンサルテーション 【18-(2)】	p22
教育機会確保法【23-(3)】	p27
教育機関・関係機関との連携【17-(3)】	p21
教育基本法【23-(3)】	p27
教育評価【18-(2)】	p22
共感性【12-(1)】	p14
共感的理解【15-(4)】	p17
教師－生徒関係【18-(1)】	p21
教職員のメンタルヘルスと支援【18-(2)】	p22
共生社会の実現を推進するための認知症基本法 <認知症基本法>【23-(2)】	p27
協調性【12-(1)】	p14
共同注意【8-(2)】	p10
恐怖【22-(1)】	p25
恐怖条件づけ【8-(1)】	p 9
業務に関する記録の適切な保管【1-(4)】	p 6
協力と競争【11-(2)】	p13
局所脳血流変化【10-(2)】	p12
筋電図【10-(2)】	p12

く

空間の知覚【7-(1)】	p 8
区間推定【5-(3)】	p 8
グリア【10-(1)】	p12
グリーフケア【15-(2)】	p17
【21-(2)】	p24
グルタミン酸【10-(1)】	p12

け

刑事施設【23-(4)】	p28
刑事司法制度【23-(4)】	p28

芸術療法【17-(2)】	p20
【17-(3)】	p21
形態論【8-(2)】	p10
傾聴【15-(4)】	p17
ケース・フォーミュレーション【14-(1)】	p16
ゲシュタルト心理学【4-(1)】	p 7
結果【6-(3)】	p 8
血管性認知症【17-(3)】	p21
結婚【11-(3)】	p13
【12-(3)】	p14
原因帰属【18-(1)】	p21
嫌悪条件づけ【8-(1)】	p 9
幻覚【22-(1)】	p25
限局性学習症／限局性学習障害<SLD> 【12-(4)】	p15
言語【4-(2)】	p 7
健康寿命【12-(5)】	p15
健康増進法【23-(1)】	p26
健康日本21【24-(3)】	p29
言語獲得支援システム【8-(2)】	p10
言語獲得装置【8-(2)】	p10
言語発達過程【8-(2)】	p10
検査【9-(4)】	p11
検査法【5-(1)】	p 7
【6-(2)】	p 8
倦怠感【21-(1)】	p23
権利擁護・アドボカシー【17-(2)】	p20

こ

語彙アプローチ【9-(4)】	p11
語彙獲得【8-(2)】	p10
5因子モデル【9-(4)】	p11
抗うつ薬【22-(2)】	p26
効果研究【15-(5)】	p17
交感神経【10-(1)】	p12
抗コリン作用【22-(2)】	p25
考察【6-(3)】	p 8
高次脳機能障害【17-(1)】	p19
高次脳機能障害の原因【10-(3)】	p12
向社会性【12-(1)】	p14
向社会的行動【12-(1)】	p14
抗精神病薬【22-(2)】	p26
向精神薬【22-(2)】	p26
構成的グループエンカウンター【18-(2)】	p22
更生保護施設【23-(4)】	p28
更生保護制度【23-(4)】	p28
構造方程式モデリング【5-(2)】	p 7
後天性免疫不全症候群<AIDS>【16-(2)】	p18
【21-(2)】	p24
行動【9-(3)】	p11
行動観察【22-(1)】	p25
行動主義【4-(1)】	p 7
行動主義的言語学習理論【8-(2)】	p10
校内教育支援センター【23-(3)】	p27
公認心理師の定義【1-(1)】	p 6
公認心理師法【1-(1)】	p 6
抗認知症薬【22-(2)】	p26
抗不安薬【22-(2)】	p26

合理的配慮【13-(2)】	p16
【18-(2)】	p22
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する 支援等に関する法律<高齢者虐待防止法> 【23-(2)】	p27
高齢者虐待防止法【23-(2)】	p27
高齢者就労【12-(5)】	p15
高齢者の医療の確保に関する法律【23-(1)】	p26
高齢者福祉の対象と問題【17-(1)】	p19
コーディネーション【18-(2)】	p22
呼吸困難【21-(1)】	p23
刻印づけ【8-(1)】	p 9
国際障害分類<ICIDH>【13-(1)】	p16
国際生活機能分類<ICF>【13-(1)】	p16
国際的な子の奪取の民事上の側面に関する 条約<ハーグ条約>【23-(4)】	p28
こころの健康対策【24-(3)】	p29
心の理論【12-(1)】	p14
個人差【4-(2)】	p 7
【9-(4)】	p11
個人主義【11-(3)】	p13
個人情報の保護【1-(4)】	p 6
個人情報の保護に関する法律 <個人情報保護法>【15-(6)】	p18
個人情報保護法【15-(6)】	p18
個人内過程【11-(1)】	p12
個人の尊厳と自己決定の尊重【15-(6)】	p18
子育て支援【17-(2)】	p20
古典的条件づけ【8-(1)】	p 9
こども基本法【23-(2)】	p26
コミュニケーション【8-(2)】	p10
【11-(1)】	p12
コミュニティ・アプローチ【15-(2)】	p17
雇用の分野における男女の均等な機会及び 待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会 均等法>【23-(5)】	p28
語用論【8-(2)】	p10
コラボレーション【17-(2)】	p20
【18-(2)】	p22
【20-(1)】	p23
孤立【17-(2)】	p20
コンサルテーション【15-(2)】	p17
【17-(2)】	p20

さ

サーカディアンリズム【10-(1)】	p12
災害時における支援【15-(2)】	p17
サイコオンコロジー<精神腫瘍学>【21-(2)】	p24
サイコロジカル・ファーストエイド 【16-(4)】	p18
再生医療【21-(2)】	p24
裁判員裁判【23-(4)】	p28
再犯予防【19-(1)】	p22
材料【6-(1)】	p 8
作業検査法【14-(3)】	p16
作業同盟【15-(4)】	p17
作業療法【22-(1)】	p25
サクセスフルエイジング【12-(5)】	p15

査定面接【14-(1)】	p16
散布度【5-(3)】	p 8

し

支援者のケア【16-(4)】	p18
支援者のメンタルヘルス【24-(3)】	p29
ジェンダーアイデンティティ【12-(2)】	p14
【17-(1)】	p19
【18-(1)】	p21
ジェンダーとセクシャリティ【12-(2)】	p14
【17-(1)】	p19
【18-(1)】	p21
支援に関わる専門職と組織【3】	p 7
刺激【6-(1)】	p 8
次元論【9-(1)】	p10
自己意識【12-(2)】	p14
思考【4-(2)】	p 7
【7-(2)】	p 9
試行錯誤【8-(1)】	p 9
自己開示【11-(2)】	p13
自己概念【12-(2)】	p14
自己過程【11-(2)】	p13
自己効力感【18-(1)】	p21
自己受容感覚【7-(1)】	p 8
自己制御【12-(1)】	p14
自己責任と自分の限界【3】	p 7
自己調整学習【18-(1)】	p21
自己呈示【11-(2)】	p13
仕事と家庭【20-(1)】	p23
自殺<自死>【18-(1)】	p21
自殺対策【16-(3)】	p18
自殺対策基本法【23-(1)】	p26
自殺予防【1-(3)】	p 6
【15-(2)】	p17
【24-(3)】	p29
自死【18-(1)】	p21
資質向上の責務【1-(2)】	p 6
視床【10-(1)】	p12
自傷【18-(1)】	p21
視床下部【10-(1)】	p12
事象関連電位【10-(2)】	p12
自助グループ【22-(1)】	p25
施設・制度を活用した支援【17-(2)】	p20
施設内処遇と社会内処遇【19-(2)】	p23
施設入所体験【17-(2)】	p20
施設養護・里親制度【17-(2)】	p20
自尊心【9-(3)】	p11
失感情症【16-(1)】	p18
実験参加者【6-(1)】	p 8
実験法【5-(1)】	p 7
【6-(2)】	p 8
失語【10-(3)】	p12
失行【10-(3)】	p12
実行機能【12-(1)】	p14
失語症【8-(2)】	p10
実施上の留意点【14-(4)】	p17
実践的研究法【5-(1)】	p 7
失認【10-(3)】	p12

質問紙法【14-(3)】	p16	受容体【10-(1)】	p12
自伝的記憶【7-(2)】	p 9	主要な症候【21-(1)】	p23
児童期【12-(3)】	p14	馴化【8-(1)】	p 9
児童虐待【17-(1)】	p19	馴化・脱馴化法【12-(1)】	p14
【18-(1)】	p21	循環器疾患【21-(2)】	p24
児童虐待の防止等に関する法律		障害者基本法【23-(2)】	p26
〈児童虐待防止法〉【23-(2)】	p26	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する 支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉 【23-(2)】	p26
児童虐待防止法【23-(2)】	p26	障害者虐待防止法【23-(2)】	p26
児童自立支援施設【23-(4)】	p28	障害者雇用促進法【23-(5)】	p28
児童相談所【23-(2)】	p27	障害者差別解消法【23-(2)】	p26
児童福祉の対象と問題【17-(1)】	p19	障害者(児)の基本的権利【13-(2)】	p16
児童福祉法【23-(2)】	p26	障害者総合支援法【13-(1)】	p16
シナプス【10-(1)】	p12	【23-(2)】	p26
死の受容【12-(5)】	p15	障害者の雇用の促進等に関する法律〈障害者 雇用促進法〉【23-(5)】	p28
自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障 害〈ASD〉【12-(4)】	p15	障害者の就労支援【20-(1)】	p23
司法面接【14-(1)】	p16	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に 支援するための法律〈障害者総合支援法〉 【13-(1)】	p16
【19-(2)】	p23	【23-(2)】	p26
社会化と個性化【12-(2)】	p14	障害者福祉の対象と問題【17-(1)】	p19
社会言語学【8-(2)】	p10	生涯発達の遺伝的基盤【12-(3)】	p14
社会構成主義【4-(1)】	p 7	障害福祉計画【23-(2)】	p26
社会行動【4-(2)】	p 7	障害を理由とする差別の解消の推進に関す る法律〈障害者差別解消法〉【23-(2)】	p26
社会情動的選択性理論【12-(5)】	p15	状況論【9-(3)】	p11
社会的アイデンティティ【11-(1)】	p12	少子高齢化【17-(1)】	p19
社会的影響【11-(1)】	p12	症状性を含む器質性精神障害【22-(1)】	p25
社会的学習【8-(1)】	p 9	情動【4-(2)】	p 7
社会的感情【11-(2)】	p13	【9-(1)】	p10
社会的交換【11-(2)】	p13	情動行動【10-(1)】	p12
社会的行動障害【10-(3)】	p12	小児期及び青年期に通常発症する行動並び に情緒の障害、特定不能の精神障害 【22-(1)】	p25
社会的参加【12-(5)】	p15	少年院【23-(4)】	p28
社会的自己【11-(2)】	p13	少年鑑別所【23-(4)】	p28
社会的ジレンマ【11-(1)】	p12	少年司法制度【23-(4)】	p28
社会的推論【11-(2)】	p13	少年非行【19-(1)】	p22
社会的動機【11-(2)】	p13	初期学習【8-(1)】	p 9
社会的認知【11-(2)】	p13	職業意識とライフコース選択【12-(3)】	p14
社会的認知理論【9-(3)】	p11	職場組織の人間関係【20-(2)】	p23
社会的養護【17-(2)】	p20	職場におけるハラスメント防止対策 【23-(5)】	p28
社会的離脱【12-(5)】	p15	職場のメンタルヘルス対策【20-(1)】	p23
社会福祉の歴史と動向・基本理念【17-(1)】	p19	職場復帰支援【16-(3)】	p18
社会福祉を担う機関・施設【17-(1)】	p19	【20-(1)】	p23
尺度【9-(4)】	p11	触覚【7-(1)】	p 8
尺度水準【5-(3)】	p 8	自立更生促進センター【23-(4)】	p28
重回帰分析【5-(2)】	p 7	自律神経【10-(1)】	p12
就学相談【18-(2)】	p22	人格【9-(3)】	p11
集合現象【11-(1)】	p12	人格と認知【9-(3)】	p11
集団【11-(1)】	p12	人格の形成過程【9-(3)】	p11
集団過程【11-(1)】	p12	神経画像検査【22-(1)】	p25
集団主義【11-(3)】	p13	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体 表現性障害【22-(1)】	p25
集団と組織【11-(3)】	p13	神経心理学的検査【14-(3)】	p16
集団認知【11-(1)】	p12	【22-(1)】	p25
集団療法【15-(1)】	p17		
終末期ケア【15-(2)】	p17		
【21-(2)】	p24		
終末低下【12-(5)】	p15		
就労移行支援【10-(3)】	p12		
就労支援【13-(2)】	p16		
【17-(2)】	p20		
主観的情感【9-(1)】	p10		
守秘義務の例外【15-(6)】	p18		

神経伝達物質【10-(1)】	p12
神経発達症群／神経発達障害群【12-(4)】	p15
親権【19-(1)】	p22
新行動主義【4-(1)】	p 7
人事訴訟事件【23-(4)】	p28
心身症【16-(1)】	p18
心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律<医療観察法>【23-(4)】	p28
身体化認知【7-(2)】	p 9
身体障害【17-(1)】	p19
身体・心理・精神機能の変化【21-(1)】	p23
身体的虐待【11-(3)】	p13
人体の解剖と生理【21-(1)】	p23
診断的評価【14-(1)】	p16
心的外傷後ストレス障害<PTSD>【17-(3)】	p20
【24-(3)】	p29
人的資源管理【20-(1)】	p23
心電図【10-(2)】	p12
親密な対人関係【11-(1)】	p12
信用失墜行為の禁止【1-(2)】	p 6
心理学における研究倫理【5-(1)】	p 7
心理教育【17-(2)】	p20
【17-(3)】	p21
【24-(3)】	p29
心理検査【1-(5)】	p 6
心理職のコンピテンシー【2-(1)】	p 6
心理職の成長モデル【2-(2)】	p 6
心理的応急処置<サイコロジカル・ファーストエイド>【16-(4)】	p18
心理的虐待【11-(3)】	p13
心理的支援【17-(2)】	p20
【17-(3)】	p21
心理的発達の障害【22-(1)】	p25
心理的負荷による精神障害の認定基準【23-(5)】	p28
心理物理学【7-(1)】	p 8
心理力動アプローチ【4-(1)】	p 7
心理力動理論【15-(1)】	p17
診療録【23-(1)】	p26
心理療法【1-(5)】	p 6
【15-(1)】	p17
【22-(1)】	p25

す

遂行機能障害【10-(3)】	p12
錐体外路症状【22-(2)】	p25
睡眠【10-(1)】	p12
睡眠薬【22-(2)】	p26
推論【7-(2)】	p 9
スーパービジョン【2-(2)】	p 6
スクールカウンセリング【18-(2)】	p22
スクールソーシャルワーク【18-(2)】	p22
ステレオタイプ【11-(2)】	p13
ストレス関連障害及び身体表現性障害【22-(1)】	p25
ストレス症状【16-(1)】	p18
ストレス脆弱性【9-(3)】	p11

ストレス耐性【9-(3)】	p11
ストレスチェック制度【20-(1)】	p23
ストレス反応【16-(1)】	p18
ストレスマネジメント教育【18-(2)】	p22

せ

性格【9-(3)】	p11
生活訓練【10-(3)】	p12
生活困窮【17-(2)】	p20
生活困窮者自立支援法【23-(2)】	p27
生活習慣と心の健康【16-(1)】	p18
生活習慣病【16-(1)】	p18
生活の中の治療【17-(3)】	p21
生活保護【17-(2)】	p20
生活保護法【23-(2)】	p27
性行動【10-(1)】	p12
精神科コンサルテーション【16-(2)】	p18
成人期【12-(3)】	p14
精神作用物質使用による精神及び行動の障害【22-(1)】	p25
精神刺激薬【22-(2)】	p26
精神疾患【16-(2)】	p18
精神疾患の診断分類【14-(1)】	p16
【22-(1)】	p25
精神腫瘍学【21-(2)】	p24
精神障害【17-(1)】	p19
精神遅滞（知的障害）【22-(1)】	p25
成人のパーソナリティ及び行動の障害【22-(1)】	p25
精神分析学【4-(1)】	p 7
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>【13-(1)】	p16
【23-(1)】	p26
精神保健福祉法【13-(1)】	p16
【23-(1)】	p26
生成文法【8-(2)】	p10
生態学的システム論【11-(3)】	p13
生態学的モデル【17-(2)】	p20
成長障害<FTT>【12-(4)】	p15
性的虐待【11-(3)】	p13
性的指向【12-(2)】	p14
【17-(1)】	p19
【18-(1)】	p21
生得的解発機構【8-(1)】	p 9
生徒指導【18-(2)】	p22
生徒指導提要【23-(3)】	p27
青年期【12-(3)】	p14
成年後見制度の利用の促進に関する法律【23-(2)】	p27
生物心理社会モデル【biopsychosocial model<BPS>】	p 7
【14-(1)】	p16
【15-(3)】	p17
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群【22-(1)】	p25
世代継承性<generativity>【12-(3)】	p14
摂食行動【10-(1)】	p12
説明義務【23-(1)】	p26

セルフヘルプグループ【17-(2)】	p20
セルフ・モニタリング【18-(1)】	p21
セロトニン【10-(1)】	p12
選好注視法【12-(1)】	p14
潜在学習【8-(1)】	p 9
潜在記憶【7-(2)】	p 9
潜在認知【11-(2)】	p13
前頭側頭型認知症【17-(3)】	p21
専門家間の情報共有【1-(4)】	p 6

そ

相関係数【5-(3)】	p 8
相互規定的作用モデル	
〈transactional model〉【12-(2)】	p14
相互作用論【9-(3)】	p11
早産【12-(4)】	p15
喪失と悲嘆【12-(5)】	p15
装置【6-(1)】	p 8
ソーシャル・インクルージョン【17-(2)】	p20
ソーシャル・コンボイ【12-(5)】	p15
ソーシャル・サポート【11-(1)】	p12
【12-(5)】	p15
ソーシャル・スキル【11-(1)】	p12
ソーシャル・スキルズ・トレーニング<SST>	
【13-(2)】	p16
【17-(2)】	p20
【18-(2)】	p22
ソーシャル・ネットワーク【11-(1)】	p12
測定【9-(4)】	p11
組織【11-(1)】	p12
ソマティック・マーカー仮説【9-(1)】	p10
尊厳【17-(2)】	p20

た

ダーク・トライアド【9-(4)】	p11
体温【10-(2)】	p12
胎児期【12-(3)】	p14
対人関係の発達【12-(2)】	p14
対人ストレス【11-(1)】	p12
対人認知【11-(2)】	p13
対人魅力【11-(2)】	p13
体性感覚【7-(1)】	p 8
態度【11-(2)】	p13
大脳皮質【10-(1)】	p12
ダイバーシティ【20-(1)】	p23
代表値【5-(3)】	p 8
代表的な認知症疾患【17-(3)】	p21
タイプA型行動パターン【16-(1)】	p18
多感覚統合【7-(1)】	p 8
多重関係【1-(2)】	p 6
多重知能【12-(1)】	p14
多職種による訪問支援【15-(2)】	p17
多職種連携【1-(5)】	p 6
多職種連携・協働【17-(2)】	p20
脱抑制型対人交流症【12-(4)】	p15
他の領域や診療科から精神科等医療機関へ	

紹介すべき例【22-(3)】	p26
多変量解析【5-(2)】	p 7
短期記憶【7-(2)】	p 9
男女雇用機会均等法【23-(5)】	p28
単身世帯【17-(1)】	p19
談話【8-(2)】	p10

ち

地域移行【22-(1)】	p25
地域関係の希薄化【17-(1)】	p19
地域生活定着支援センター【23-(4)】	p28
地域包括ケアシステム【15-(2)】	p17
地域包括支援センター【23-(2)】	p27
地域包括支援センターとの連携【17-(2)】	p20
地域保健法【23-(1)】	p26
チーム医療【1-(5)】	p 6
チーム医療と多職種連携の実践【16-(2)】	p18
チーム学校【18-(2)】	p22
知覚【4-(2)】	p 7
【10-(2)】	p12
知覚・認知機能の障害【7-(1)】	p 8
知覚の可塑性【7-(1)】	p 8
知識【7-(2)】	p 9
知的障害【17-(1)】	p19
【22-(1)】	p25
知的能力障害【12-(4)】	p15
知能検査【14-(3)】	p16
【22-(1)】	p25
知能指数【12-(1)】	p14
知能の構造【12-(1)】	p14
注意【7-(2)】	p 9
注意義務【23-(1)】	p26
注意欠如多動症／注意欠如多動性障害<AD/HD>	
【12-(4)】	p15
注意障害【10-(3)】	p12
中枢神経【10-(1)】	p12
中枢神経説【9-(1)】	p10
中年期【12-(3)】	p14
中年期危機【12-(3)】	p14
長期記憶【7-(2)】	p 9
超高齢社会【17-(1)】	p19
調査法【5-(1)】	p 7
【6-(2)】	p 8
治療可能な認知症【17-(3)】	p21
治療と仕事【20-(1)】	p23

つ

通級による指導【23-(3)】	p27
-----------------	-----

て

低出生体重児【12-(4)】	p15
ディスレクシア【8-(2)】	p10
データ解析【6-(2)】	p 8
テストバッテリー【14-(1)】	p16
テスト理論【5-(2)】	p 7

手続【6-(1)】	p 8
転移【8-(1)】	p 9
【15-(3)】	p17
点推定【5-(3)】	p 8
展望記憶【7-(2)】	p 9

と

投影法【14-(3)】	p16
動機づけ【4-(2)】	p 7
【18-(1)】	p21
動機づけ面接【15-(5)】	p17
【19-(2)】	p23
動機づけ理論【20-(2)】	p23
統合失調型障害及び妄想性障害【22-(1)】	p25
統合失調症【22-(1)】	p25
統語論【8-(2)】	p10
洞察学習【8-(1)】	p 9
道徳性【12-(1)】	p14
逃避学習【8-(1)】	p 9
読字障害【8-(2)】	p10
特性論【9-(4)】	p11
特定不能の精神障害【22-(1)】	p25
特別支援教育【13-(2)】	p16
【18-(2)】	p22
【23-(3)】	p27
閉じこもり【17-(1)】	p19
【17-(2)】	p20
度数分布【5-(3)】	p 8
独居困難【17-(2)】	p20
独居・孤独【12-(5)】	p15
ドパミン【10-(1)】	p12

な

内的作業モデル【12-(2)】	p14
内分泌代謝疾患【21-(2)】	p24
仲間関係【12-(2)】	p14
ナラティブ【8-(2)】	p10
ナラティブ・アプローチ【4-(1)】	p 7
【9-(4)】	p11
【15-(3)】	p17
難病【16-(2)】	p18
【21-(2)】	p24

に

二次的外傷【17-(2)】	p20
日常記憶【7-(2)】	p 9
日常生活動作<ADL>【12-(5)】	p15
乳児期【12-(3)】	p14
乳児に対する実験法【12-(1)】	p14
ニューロン【10-(1)】	p12
二要因理論【9-(1)】	p10
人間－状況論争【9-(3)】	p11
人間性アプローチ【4-(1)】	p 7
【15-(1)】	p17
人間性心理学的アプローチ【9-(4)】	p11

妊娠・出産・育児【16-(3)】	p18
認知機能【17-(2)】	p20
認知機能検査【22-(1)】	p25
認知言語学【8-(2)】	p10
認知行動アプローチ【4-(1)】	p 7
認知行動療法【13-(2)】	p16
認知行動理論【15-(1)】	p17
認知症【12-(5)】	p15
【17-(1)】	p19
認知症基本法【23-(2)】	p27
認知症高齢者【16-(3)】	p18
認知症の概念・定義・分類・動向	
【17-(3)】	p21
認知神経科学【4-(1)】	p 7
認知心理学【4-(1)】	p 7
認知的制約【8-(2)】	p10
認知的評価理論【9-(1)】	p10
認知バイアス【7-(2)】	p 9
認知リハビリテーション【17-(2)】	p20
【17-(3)】	p21

ね

ネグレクト【11-(3)】	p13
ネット依存【18-(1)】	p21

の

脳機能計測技術【7-(1)】	p 8
脳血管疾患【21-(2)】	p24
脳脊髄液【10-(1)】	p12
脳卒中後遺症【21-(2)】	p24
脳波【10-(2)】	p12
脳波検査【22-(1)】	p25
脳や心身の発達への影響【17-(3)】	p20
ノルアドレナリン【10-(1)】	p12
ノンパラメトリック検定【5-(3)】	p 8

は

ハーグ条約【23-(4)】	p28
パーソナリティ【9-(3)】	p11
パーソナリティ障害【9-(4)】	p11
パーソンセンタード・ケア【17-(3)】	p21
バーンアウト【16-(1)】	p18
【17-(2)】	p20
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等 に関する法律<配偶者暴力防止法>	
【23-(2)】	p27
配偶者暴力相談支援センター【17-(2)】	p20
【23-(2)】	p27
配偶者暴力防止法	p27
働き方改革【20-(1)】	p23
発達【4-(2)】	p 7
発達検査【14-(3)】	p16
【22-(1)】	p25
発達障害【13-(1)】	p16
【17-(1)】	p19

発達障害者支援法【13-(1)】	p16
【23-(2)】	p26
発達性協調運動症／発達性協調運動障害	
【12-(4)】	p15
発達【17-(2)】	p20
発達相談【16-(3)】	p18
ハラスメント【20-(1)】	p23
般化【8-(1)】	p 9
半構造化面接【14-(1)】	p16
犯罪【19-(1)】	p22
犯罪捜査場面における心理学【19-(1)】	p22
犯罪被害者支援【19-(1)】	p22
犯罪被害者支援制度【23-(4)】	p28
犯罪被害者等基本法【23-(4)】	p28
犯罪予防【19-(1)】	p22
反社会性【12-(1)】	p14
反応性アタッチメント症【12-(4)】	p15

ひ

被介護【12-(5)】	p15
被害者の視点を取り入れた教育【19-(2)】	p23
比較発達心理学的アプローチ【12-(1)】	p14
ひきこもり【16-(3)】	p18
【17-(2)】	p20
非器質性【12-(4)】	p15
被虐待児（者）への支援【17-(3)】	p21
被虐待児（者）への心理療法【17-(3)】	p21
非行【18-(1)】	p21
非行・犯罪のアセスメント【19-(2)】	p23
非行・犯罪の各種処遇プログラム【19-(2)】	p23
非行・犯罪の心理発達の背景【19-(2)】	p23
非行・犯罪の理論【19-(2)】	p23
被災者の心身の反応【16-(4)】	p18
被災者への支援【16-(4)】	p18
非社会性【12-(1)】	p14
非定型発達に対する介入及び支援【12-(4)】	p15
一人親世帯【17-(1)】	p19
皮膚電位図【10-(2)】	p12
秘密保持義務【1-(2)】	p 6
【1-(4)】	p 6
描画法【14-(3)】	p16
表情知覚【9-(2)】	p11
評定尺度【22-(1)】	p25
標本分布【5-(3)】	p 8
貧困【18-(1)】	p21
貧困・低所得【17-(1)】	p19

ふ

不安【17-(2)】	p20
【22-(1)】	p25
夫婦関係【11-(3)】	p13
夫婦間暴力<IPV>【11-(3)】	p13
【17-(1)】	p19
賦活症候群【22-(2)】	p26
副交感神経【10-(1)】	p12
副作用【22-(2)】	p25

福祉現場における支援の基本【17-(2)】	p20
福祉事務所【23-(2)】	p27
物体とシーンの知覚【7-(1)】	p 8
物体認知【7-(2)】	p 9
不適切な養育【11-(3)】	p13
不登校【18-(2)】	p22
不登校特例校【23-(3)】	p27
普遍文法【8-(2)】	p10
プライバシー保護【1-(4)】	p 6
プライミング【7-(2)】	p 9
フレイル【17-(1)】	p19
ブローカ失語【8-(2)】	p10
文化的自己観【11-(3)】	p13
文化と適応【11-(3)】	p13
文献研究【6-(1)】	p 8
分散分析【5-(2)】	p 7
文理解【8-(2)】	p10

へ

ペアレント・トレーニング【13-(2)】	p16
平均寿命【12-(5)】	p15
辺縁系【10-(1)】	p12
弁別【8-(1)】	p 9

ほ

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・	
労働との連携【3】	p 7
保険診療制度【23-(1)】	p26
保護観察所【23-(4)】	p28
ポジティブ感情【9-(2)】	p11
ポジティブ心理学【15-(3)】	p17
ポジティブメンタルヘルス【20-(1)】	p23
母子保健法【23-(1)】	p26
補償を伴う選択的最適化【12-(5)】	p15
本人・家族・介護者の心理【17-(3)】	p21
本人の心理社会的課題【17-(2)】	p20

ま

末梢神経【10-(1)】	p12
末梢神経説【9-(1)】	p10

み

味覚【7-(1)】	p 8
民法【23-(1)】	p26

む

無気力【18-(1)】	p21
-------------	-----

め

メタ分析【5-(2)】	p 7
【15-(5)】	p17

めまい【21-(1)】	p23
面接法【5-(1)】	p 7
【6-(2)】	p 8
メンタライゼーション【12-(1)】	p14
メンタルヘルス【17-(2)】	p20

も

妄想【22-(1)】	p25
燃え尽き症候群<バーンアウト>【16-(1)】	p18
【17-(2)】	p20
目的【6-(1)】	p 8
モデリング【8-(1)】	p 9
問題解決【7-(2)】	p 9

や

薬剤性精神障害【22-(2)】	p26
薬物【16-(3)】	p18
【21-(2)】	p24
薬物依存【18-(1)】	p21
薬物依存症【24-(3)】	p29
薬物動態【22-(2)】	p25
薬物療法【22-(1)】	p25
薬理作用【22-(2)】	p25

ゆ

有害事象【22-(2)】	p25
遊戯療法【17-(2)】	p20
友人関係【12-(2)】	p14

よ

養育困難【17-(1)】	p19
養育信念【11-(3)】	p13
養育と発達【12-(1)】	p14
要介護【17-(1)】	p19
幼児期【12-(3)】	p14
要素主義【4-(1)】	p 7
用法基盤モデル【8-(2)】	p10
要保護児童【17-(1)】	p19
抑うつ【17-(2)】	p20
【22-(1)】	p25
予防の考え方【16-(1)】	p18

ら

ライフサイクルと心の健康【16-(1)】	p18
ライフサイクル論【12-(3)】	p14

り

リーダーシップ【20-(2)】	p23
リービングケア【17-(3)】	p21
リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション>【16-(2)】	p18

離婚・再婚家庭【17-(1)】	p19
離婚と子の福祉【19-(1)】	p22
リサーチ・クエスション【6-(1)】	p 8
離職・人手不足【17-(2)】	p20
リスクアセスメント【1-(3)】	p 6
リハビリテーション【10-(3)】	p12
【13-(2)】	p16
療育【13-(2)】	p16
両立支援【20-(1)】	p23
臨界期【8-(1)】	p 9
倫理的ジレンマ【1-(2)】	p 6
倫理的問題【17-(2)】	p20

る

類型論【9-(4)】	p11
------------	-----

れ

レヴィ小体型認知症【17-(3)】	p21
レジリエンス【9-(3)】	p11
恋愛【12-(3)】	p14
連続性と変化【9-(3)】	p11

ろ

老人福祉法【23-(2)】	p26
労働安全衛生法【23-(5)】	p28
労働安全衛生マネジメント【20-(2)】	p23
労働基準法【23-(5)】	p28
労働契約法【23-(5)】	p28
労働災害【20-(1)】	p23
労働施策総合推進法【23-(5)】	p28
労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用 の安定及び職業生活の充実等に関する法律 <労働施策総合推進法>【23-(5)】	p28
労働者の心の健康の保持増進のための指針 【23-(5)】	p28
労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣 労働者の保護等に関する法律<労働者派遣法> 【23-(5)】	p28
労働者派遣法【23-(5)】	p28
老年期【12-(3)】	p14
老年的超越【12-(5)】	p15
6因子モデル【9-(4)】	p11

わ

ワーキングメモリ【7-(2)】	p 9
ワーク・ライフ・バランス【20-(1)】	p23

A	
ACP 【3】	p 7
AD/HD 【12-(4)】	p15
ADL 【12-(5)】	p15
affect 【9-(1)】	p10
aging paradox 【12-(5)】	p15
AIDS 【16-(2)】	p18
【21-(2)】	p24
ASD 【12-(4)】	p15

B	
biopsychosocial model<BPS> 【4-(1)】	p 7
【14-(1)】	p16
【15-(3)】	p17
BPS 【4-(1)】	p 7
【14-(1)】	p16
【15-(3)】	p17

C	
Caplan モデル 【16-(1)】	p18

D	
DV 【11-(3)】	p13

E	
emotion 【9-(1)】	p10

F	
feeling 【9-(1)】	p10
FTT 【12-(4)】	p15

G	
GABA 【10-(1)】	p12
generativity 【12-(3)】	p14

H	
HEXACO 【9-(4)】	p11

I	
ICF 【13-(1)】	p16
ICIDH 【13-(1)】	p16
ICT を用いた支援 【18-(2)】	p22
IPV 【11-(3)】	p13
【17-(1)】	p19

J	
J. Piaget の発達理論 【12-(1)】	p14

L	
L. S. Vygotsky の発達理論 【12-(1)】	p14

M	
MCI 【17-(1)】	p19
mood 【9-(1)】	p10

N	
N. Chomsky の言語理論 【8-(2)】	p10

P	
PTSD 【17-(3)】	p20
【24-(3)】	p29

Q	
QOL<quality of life> 【12-(5)】	p15
【16-(2)】	p18
quality of life 【12-(5)】	p15
【16-(2)】	p18

S	
scientist-practitioner model 【4-(1)】	p 7
SLD 【12-(4)】	p15
SST 【13-(2)】	p16
【17-(2)】	p20
【18-(3)】	p22

T	
TEACCH 【13-(2)】	p16
transactional model 【12-(2)】	p14